

DNA複製時における不均衡なエラーの発生は進化を加速する —不均衡進化理論と進化の加速実験—

講演者 古澤 満

株式会社ネオモルガン研究所 取締役・CSO
第一製薬株式会社 (社長付・特別参事)

日 時: 2005年3月24日(木)
16:00 ~ 17:00
場 所: C棟1階オーデトリウム

要 旨 :

従来の進化遺伝学(進化の統合説)ではランダムな変異を前提としているので、必然的に"変異の閾値"が現れ、遅々とした進化の進行を余儀なくされる。一方、精度の高いポリメラーゼとエラーを起こしやすいもののが同じ細胞に共存すると、"変異の閾値"が著しく上がるか又は消滅し、進化が加速される。

セミナーでは本理論をわかり易く説明し、生物を使った進化加速の実験例を示す。更に、進化遺伝学(集団遺伝学)の過去の歴史を踏まえて、古典熱力学的な考え方を進化研究に適用することの危険性について述べたい。

Host

細胞移動研究チーム
西脇 清二
: 078-306-3262 (内線: 1745)
E-mail: nishiwak@cdb.riken.jp